

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 農産物等研究専門部会  
議事要旨**

1 開催日時：平成30年2月23日（金）11:00～12:00

2 開催場所：明治大学黒川農場 1-A 会議室

3 出席者：[座長] 小清水客員教授

[部会員] 梅澤委員、市川委員、志村委員、保谷委員、山中委員、岩淵委員

[事務局] 川崎市経済労働局都市農業振興センター 農地課 二郷農地課長、地引保  
全係長、小川（真）主任、

コンサルタント（株）UR リンケージ 牧野、會田）

#### 4 議事

##### (1) 平成29年度の取り組みについて

###### 《主な意見》

###### 大学と農家の意見交換会について

- ①今年度は10月に実施するよう調整していたが、農協の行事等と重なり開催には至っていない。

###### アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施

- ①1回目の栽培ということで試行錯誤しながら栽培していたが、ほ場によって、生育に差があった。最初は元肥だけでよい、という話だったが、追肥はしてもよいのか。情報があれば共有していきたい。
- ②市役所では現在各畑の土壌を採取して、分析をしている所である。最終的には処方箋のような形で各農家には提示していきたい。来年度は違う場所で栽培することになると思うので、次作予定の土壌を市役所に持ってきてくれれば分析できる。勉強会などでは各個人の畑の状況を具体的に挙げるのではなく、傾向の分析結果を皆に知らせられるとよい。
- ③先生からは次作する際は近い場所の畝で栽培しても良いと聞いている。
- ④今回は場所や日当たりの違う様々な土壌や環境の条件で栽培することができた。栽培に関するデータが安定するには数年かかるが、次年度以降の参考になるのではないか。
- ⑤他の地区で栽培している農家もいるが、一人で栽培していることが多く、市もアドバイスをしながら実施していたが、管理が後手になってしまっているケースも見られた。今回のようなケースもふまえながら、分析していく。アスパラの栽培は難しいため、横浜市内、神奈川県内でアスパラを大規模に栽培しているケースは少ない。
- ⑥来年度からはこれまでのような苗の配布はできない可能性がある一方で、新たな展開については、検討が必要である。アイデア等があれば情報を提供してほしい。
- ⑦最盛期の収穫が大変だと聞いており、竹の子の収穫時期が重なる不安もあることから収穫は援農ボランティアに頼むことも考えられるだろう。

###### 地元農業者との農産加工品に関する検討

- ①本部会のテーマでもあるので、来年度も引き続き検討していきたい。

## 黒川野菜・果物等の PR

- ①販売する種類について事前にある程度情報はもっていたが、収穫体験の野菜等と重複してしまい予想以上に販売に苦戦した。今後も事前に情報をもらいながら重複がないようにしたい。

## (2) 平成 30 年度実施計画 (案) について

### 《主な意見》

#### アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施

- ①鮮度保持が難しく、温度が高くなると味が落ちてしまうので、鮮度保持対策を徹底する必要がある。セレスモスでも普通の野菜とは別格として扱い、氷の上で販売するのがよい。
- ②収穫については午前と午後の出荷を分け、お客に対しては、出荷時間を告知しておけば売れると思うし、収穫も空いた時間にできるので良いのではないか。
- ③収穫したアスパラガスをマルチの上などに置いてしまうと温度が高いので、鮮度が落ちてしまう。すぐに氷の入ったクーラーボックスなどに入れたほうが良い。水が入ると病気などが広がるかもしれないので、対策が必要。収穫が始まる前に情報を共有していきたい。
- ④セレスモスなどにも氷が用意できるかや、特別な扱いで販売できるか調整が必要なので、話を持ちかけてみる。
- ⑤県の技術センターでも鮮度保持に関するデータを集めているはずなので、情報を示してほしい。
- ⑥氷詰めしたアスパラを限定物として高値で販売していけると良い。包装した状態で販売するのか無包装とするのかは検討が必要で、氷詰めしたアスパラガスは予め値段を高めを設定してみても良い。黒川のアスパラガスは氷詰めで販売しているなど地域として統一して PR できると良い。
- ⑦特産物が出来た際に、区として PR ではチラシやホームページなどで紹介できるほか、試食会などのイベントも開催できる。一般の消費者としては、アスパラガスを特別感のある名称にすると、希少価値が高まる。
- ⑧明治大学で整備した展示ほ場は小学校の収穫体験の場として活用し、その後は先生と調整して加工の材料にしたり、PR する際に活用していく予定である。

## 5 今後の予定

- ①来年度は計画を見直しながら、進めていく。

以上